

令和6年度		八王子市立散田小学校経営計画							
学校教育目標		○思いやりのある子(徳) ○学び合う子(知) ○たくましい子(体)		ビジョン		【目指す学校像】	児童にとって学ぶ喜びや居場所があり、小さな希望をつなぎ、可能性を広げる学校		
						【目指す児童像】	【心を育てる】 自他を受け止め、しなやかに対応し、前向きな気持ちをもつ児童 【言葉をつむぐ】 多様な他者とかかわり、適切に表現し、建設的に根気強く考える児童 【体をつくる】 自分の可能性を実現する体力を身に付け、健康な生活を送る児童		
						【目指す教師像】	専門職としての自覚と誇りをもち、常に相手から学び、チームで課題を解決できる教師		
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	評価結果について	
言葉をつむぐ	児童に学習の基盤となる基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、家庭と連携を図り、学習習慣を身に付ける。	国語についての基本的な理解や使い方、数量や図形などについての基本的な理解や数理的な処理の仕方について児童の認知や身体に着目して指導方法を工夫し、定着できるようにする。	①対象児童の状況を把握し、「たつじん調査」の結果を踏まえた国語・算数習熟度別指導の授業改善を行う。 ②散田タイム・個別指導等においてドリルパークの活用を含め、知識・技能に関する内容を繰り返し指導しする。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.4	4 改善した対象児童の割合が80%以上だった 3 改善した対象児童の割合が60%以上だった 2 改善した対象児童の割合が40%以上だった 1 改善した対象児童の割合が40%未満だった	3.0	①「たつじん調査」の結果を踏まえた学習指導の工夫を行った。各学年による差があるが、対象児童の60～70%程度に改善が見られた。特に4年生算数、6年生国語で大きく改善した。 ②ドリルパークの活用は学級ごとの差があった。⑦に関連する課題もあり、活用と定着状況の相関を見極めていく必要がある。	
		保護者と連携し、自立的な家庭学習の習慣を身に付ける。	③「家庭学習のすすめ」を活用し、学習用端末の活用も含め、課題の提示方法を工夫し、低20分、中40分、高60分以上の家庭学習を設定して、家庭学習習慣を定着させる。	4 端末の活用を含めほぼ毎日取り組ませた 3 端末の活用を含め週3回程度取り組ませた 2 端末の活用を含め週2回程度取り組ませた 1 家庭学習を計画的に実施できなかった	3.7	4 家庭学習が身に付いた児童の割合が80%以上だった 3 家庭学習が身に付いた児童の割合が60%以上だった 2 家庭学習が身に付いた児童の割合が40%以上だった 1 家庭学習が身に付いた児童の割合が40%未満だった	3.3	③保護者アンケートでは家庭学習の定着度は80%程度であり、児童アンケートで「とてもよい」と回答した児童は50%程度である。個人による差が大きく、状況に応じて課題の内容や分量の調整などを行っているが、今後も「必然性」のある「学びに向かう」ための学習課題の工夫が必要である。	
	児童に紙媒体、デジタル媒体双方を活用させ、言語能力、情報活用能力を身に付けさせる。	書記言語や口頭言語に対する注意力を高め、背景知識を豊かにし、深い読みを実現する基盤をつくる。	④学校図書館の活用、書籍資料(書籍・図鑑・辞典・辞書等)の活用を1ヵ月に2度以上実施する。 ⑤読み聞かせ、音読、暗唱、視写等、能動的な読字や書字を日常的に実施する。 ⑥各教科等で多様な表現活動、鑑賞活動を実施する。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.5	4 積極的に取り組む児童の割合が80%以上だった 3 積極的に取り組む児童の割合が60%以上だった 2 積極的に取り組む児童の割合が40%以上だった 1 積極的に取り組む児童の割合が40%未満だった	3.1	④⑤⑥問題解決的な学習の中に、これらの要素を取り入れていく取組も積極的に行っている。学校図書館の活用は低学年で充実している一方、高学年では授業時数の問題もあり個人差が大きい。ただし子どもたちの図書に対する関心は高いため、よい図書に触れる機会を工夫していきたい。	
		八王子市情報活用能力系統表に示された技能を習得させ、児童が学び方を選択できるようにする。	⑦各教科等の授業において、ソフトウェアの活用を含めて学年に応じた技能の定着を図るとともに、児童がデジタル・アナログの双方を活用したり、選択したりする場面を設ける。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.6	4 習得目標技能が定着した児童が80%以上だった 3 習得目標技能が定着した児童が60%以上だった 2 習得目標技能が定着した児童が40%以上だった 1 習得目標技能が定着した児童が40%未満だった	3.5	⑦子どもたち、教員ともに、端末なしには授業の展開が考えられないほどに活用が進んでいる。ただし、端末の活用はアナログの体験が基盤になっていることが明らかになってきている。デジタル・アナログの双方を活用したり選択したりする工夫は今後ますます重要になってくると考える。	
	校内研修を充実させ、主体的・対話的な深い学びを実現する。	主体的・対話的で深い学びを実現するため、「児童に委ねる場面」を見極め、児童の実態に応じた授業改善を行う。	⑧全教職員が、校内研究テーマに基づいた研究授業、公開授業、授業観察等を行う。「児童が課題や学び方を選択する場面」を設定し、授業のねらいを達成する指導方法を検討して授業実践を行う。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.8	4 児童アンケート(学習)において肯定的な評価が80%以上だった 3 児童アンケート(学習)において肯定的な評価が70%以上だった 2 児童アンケート(学習)において肯定的な評価が60%以上だった 1 児童アンケート(学習)において肯定的な評価が60%未満だった	3.8	⑧「たつじん調査」に基づいた授業改善とともに「子どもたちに委ねる」場面を設定した授業研究を7回実施した。継続的に指導を受けている大学教授から「子どもたちの授業に向かう姿が変化した」と評価をいただいた。「単元内自由進度学習」を見据えた実践も高学年において試行され、今後につながる知見を得た。	
心を育てる	多様な他者と協働する体験活動を充実させる。	多様な他者と協働する、体験活動、伝承活動を工夫し、総合的な学習の時間、特別活動等の充実を図る。	⑨総合的な学習の時間、生活科、特別活動等において、地域、異学年等、他者と協働した体験活動、学びを伝承する活動を計画的に実施し、キャリアパスポート等を活用した振り返りの指導を実施する。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.5	4 協働して活動する児童の割合が80%以上だった 3 協働して活動する児童の割合が60%以上だった 2 協働して活動する児童の割合が40%以上だった 1 協働して活動する児童の割合が40%未満だった	3.7	⑨開校60周年記念事業と関連させながら、「多様な他者と協働する学習」、「学びを伝承する活動」が各学年で実施され、豊かな学びを実現することができた。児童アンケートから子どもたちも散田小学校の特色のよさを感じながら学習に取り組んでいる様子が見える。来年度も本校の柱として子どもたちの実態を即した活動を展開したい。	
	授業規律を徹底し、学習環境の整備を実現する。	横山中学校区で連携し、学習規律について一貫した指導を行うとともに、教育環境及び言語環境を適切に整備する。	⑩散田スタンダードに基づき学習規律を徹底し、聞く・話す態度を定着させる。教室の整備を行うとともに教員自身の言語環境を整える。 ⑪横山中学校区の取組を踏まえ、児童の実態に応じてスタンダードの見直しを行う。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.6	4 学習規律が身に付いた児童の割合が80%以上だった 3 学習規律が身に付いた児童の割合が70%以上だった 2 学習規律が身に付いた児童の割合が60%以上だった 1 学習規律が身に付いた児童の割合が60%未満だった	3.2	⑩児童アンケートから、子どもたちは学習規律に対する教職員の指導についてよく意識している様子が見える。定着度については個人差が大きい。引き続き家庭・地域と連携して取り組んでいきたい。 ⑪散田スタンダードについて、子どもたちの考えも取り入れながら実態に応じた見直しを行ってきたい。	
	配慮を要する児童や家庭への対応を組織的に行う。	不登校、いじめ、教育ニーズのある児童や家庭への対応策を考え、実施する。	⑧不登校対応、いじめ対策委、校内委員会、児童へのアンケートや聞き取り等を計画的に実施し、児童の状況把握とケースに応じた支援を組織的かつ迅速に行う。	4 迅速に情報共有し、組織的に対応することができた 3 情報共有し、組織的に対応することができた 2 情報共有と組織的な対応が遅れた 1 情報共有と組織的な対応ができなかった	3.9	4 対象児童のほぼ全員に状況の改善が見られた 3 対象児童の多くに状況の改善が見られた 2 対象児童の一部に状況の改善が見られた 1 対象児童のほとんどに改善が見られなかった	3.1	⑧家庭や関係機関と連携して組織的に対応を進めてきた。改善が見られるケースも多数あるが、困難な状況が継続しているケースもある。引き続き対応していく。いじめの防止について、対処の方法など子どもたちの理解も進んできているように感じる。引き続きアンテナを高く張り見守りを続けていきたい。	
	特別な配慮を必要とする児童への指導・支援を充実する。	学校生活支援シート及び、(連携型)個別指導計画を保護者と共有し、目標達成のための指導を充実させる。	⑨学校生活支援シート及び、(連携型)個別指導計画に基づき、指導を推進し、個に応じた目標を達成するようにする。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.7	4 対象児童のほぼ全員に困難の軽減が見られた。 3 対象児童の多くに困難の軽減が見られた。 2 対象児童の一部に困難の軽減が見られた。 1 対象児童のほとんどに困難の軽減が見られなかった。	3.2	⑨特別支援CDを中心に、個々の教育ニーズを踏まえ、家庭や関係機関とも連携して指導・支援方法について検討し実践をした。困難の軽減が見られるケースが多数見られた。引き続き、指導・支援の工夫・改善を行い目標の達成を目指したい。	
	体をつくる	児童の体力向上を向上させ、生活習慣の改善を図るとともに、健康の保持増進を実現させる。	東京都統一体力テストの結果を活用し、体力調査を活用した取組を行い、体力を向上させる。	⑩体力テストの結果から、重点取組項目を設定し、体育の授業、散田ハッスルタイム、集会活動、ロング昼休み等を通して、児童が楽しく運動できる体力向上の取組を計画的に行う。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.1	4 重点項目で向上が見られた児童の割合が80%以上だった 3 重点項目で向上が見られた児童の割合が60%以上だった 2 重点項目で向上が見られた児童の割合が40%以上だった 1 重点項目で体力の向上が見られた児童の割合が40%未満だった	2.7	⑩今年度の体力テストの結果から、全体的に体力の低下傾向が見られた。昨年度より重点項目として取り組んだ種目には改善が見られることから、種目ごとの取組と合わせて総合的に体力を向上させる策を検討していく必要がある。
		基本的な生活習慣を身に付け、けがや事故を防止し、健康の保持増進に取り組み、自他の生命を守る態度を身に付ける。	⑪保健指導、学級活動、体育(保健)等で児童自身が、基本的な生活習慣や病気の予防及び自他の生命を守ることにについて考え、自身を振り返る指導を計画的に行うとともに、各教科等において安全指導を確実に行う。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.9	4 実践に主体的に取り組んだ児童の割合が80%以上だった。 3 実践に主体的に取り組んだ児童の割合が60%以上だった。 2 実践に主体的に取り組んだ児童の割合が40%以上だった。 1 実践に主体的に取り組んだ児童の割合が40%未満だった。	3.3	⑪児童アンケートから学校生活における健康や安全について教職員が指導したことへの子どもたちの意識は向上していると感じる。一方でヒヤリハット事案は発生しており、引き続き事故防止の取組を行う必要がある。また、今年度インフルエンザが大流行した。健康管理への意識もより高めていくようにしたい。	
		食事の重要性を理解し、食文化等についての関心を高めるとともに、食に関する人々への感謝の気持ちや、食事のマナーを大切にしようとする。	⑫「日本遺産献立」や「学ぼう！食べよう！世界の料理」など、トピックメニューについての学習を月2回程度実施するとともに、喫食の時間を十分に確保し、日常の給食の中で「味わう」指導を行う。	4 ほぼ計画通り実施した 3 70%以上程度計画通り実施した 2 60%以上程度計画通り実施した 1 計画的に実施できなかった	3.2	4 給食を味わって食べようとする児童の割合が80%以上だった。 3 給食を味わって食べようとする児童の割合が60%以上だった。 2 給食を味わって食べようとする児童の割合が40%以上だった。 1 給食を味わって食べようとする児童の割合が40%未満だった。	3.5	⑫残菜率からみると、全体的に子どもたちは給食をよく食べている様子である。高学年においては副菜を残す傾向がある。それぞれのメニューの由来について理解させた上で、様々なものを食べる経験を積ませるようにしたい。	
平均					3.6	平均 3.3			